

R07 阿見町メタバース空間構築業務仕様書

1 総則

(1) 概要

メタバース版“泳げる霞ヶ浦 Myあみビーチ VR”を構築する。「未来の泳げる霞ヶ浦」を体験できる3D空間を構築することにより、霞ヶ浦浄化の啓発を行い、かつて泳げた霞ヶ浦を取り戻すための行動を促すとともに、町のPRの起爆剤とする。さらには、この空間を町のイベントのオンライン会場として活用し、健康上の不安や障害のために現実での参加が難しい町民も参加できる環境を整える。

(2) 費用の負担

業務の実施等に伴う費用は、本仕様書に明記のないものであっても、原則として受託者の負担とする。

(3) 法令等の遵守

受託者は、業務実施に当たり関連する法令などを遵守しなければならない。

(4) 秘密の保持

受託者は、業務上知り得た秘密を他人に漏らしてはならない。

(5) 公益確保の義務

受託者は、業務を行うに当たっては公益の安全、環境その他公益を害することのないように努めなければならない。

(6) 業務実施体制

受託者は、統括責任者及び主任担当者をもって秩序正しく誠意をもって業務を行なわなければならない。

(7) 進捗管理・打合せ

受託者は本業務の進捗管理を行い、進捗に応じて本町担当者と打合せを実施する。初回の打合せにおいて受託者は町に業務計画書を提出する。打合せを実施した際は、受託者が打合せ記録の作成を行う。会議はオンラインによる開催も可能とする。

(8) 業務報告書の提出

受託者は、業務が完了した時点で、制作したメタバース空間の概要、業務着手日、業務完了日、その他町の指定する項目を記載した業務報告書を町に提出する。

(9) 疑義の解釈

本仕様書に定める事項について、疑義を生じた場合又は本仕様書に定めのない事項については、本町と受託者の協議によるものとする。

2 業務内容

(1) 対象業務

- ア メタバース空間の構築
- イ PR 素材の提供
- ウ 各種マニュアルの作成

(2) 委託期間

委託期間の開始日から令和8年3月31日

(3) 再委託

- ア 受託者は、業務の一部を再委託する場合、書面により本町に報告しなければならない。
- イ 受託者は、再委託先に対して本契約における受託者の義務と同様の義務を順守させなければならない。
- ウ 受託者は、再委託先の進捗管理及び成果について一切の責任を負う。

(4) 業務の詳細

- ア メタバース空間の構築
 - ・仕様は次の通りとする

同時接続数	20人以上
動作環境	対応OS：Windows/macOS/iOS/Android/iPadOS 対応デバイス：PC、スマートフォン、タブレット端末、VRゴーグル
プラットフォーム	次のすべての条件を満たすプラットフォームを使用すること ・利用者がアバターを自由に操作できる ・常時公開が可能であること ・維持費が無料または少額（概ね年間30万円以下）であること 次の条件を可とする ・複数のプラットフォームに役割を分担させることを可とし、その中にゲームを主体とするプラットフォーム(FORTNITE、ROBLOX等)

	を使用することも可とする ・UI は日本語が望ましいが、外国語の場合は日本語案内画像の配置 などで対応することを可とする
スケジュール	令和 8 年 1 月末までに部分公開、令和 8 年 3 月末までに全公開する

イ PR 素材の提供

- ・町が PR 資料を作成するために必要となるスクリーンショット等の画像素材を町へ提供する。
- ・数分間程度のプレー動画（1080p 以上・30fps 以上・MP4 形式）を公開の 1 か月前を目安に町へ提供する。

ウ 各種マニュアルの作成

- ・職員がメタバース空間を管理するためのマニュアルを作成する。各種設定方法、パネル展示における掲示物の差し替え方法、運用において急を要する対応（公開停止等）方法等を記載する。
- ・町の公共施設内の体験ブースに配置する利用者用のマニュアルを作成する。

(5) メタバース空間の条件

ア 未来の泳げる霞ヶ浦のビーチ（My あみビーチ）

- ・水質が改善され、泳げるようになった未来の霞ヶ浦のビーチをメタバース空間で再現する。
- ・砂浜、霞ヶ浦、筑波山の見える景色を実装する。
- ・アバターに泳ぐ機能を実装することが望ましい。
- ・必ずしも現地を忠実に再現するのではなく、VR ならではの非現実的な空間も可とする

イ イベント会場

- ・町のイベントのライブ配信やメタバース空間内でのイベント開催が実施できる講演会場または多目的ルームを実装する。
- ・20 人以上が同時に入室可能な空間とする。
- ・町では、二十歳のつどい、市制施行記念式典、阿見町ファン組織の集まりなどを想定している。

ウ パネル展示

- ・観光案内や霞ヶ浦浄化に関するパネルを掲示できるボードを実装する。
- ・掲示物は職員が入れ替えできるシステムとする。

エ ゲーム要素

- ・集客を目的とした臨場感のあるミニゲームまたは 3D 映像等のアトラクションを実装する。
- ・町の地域性に関連した、現実では体験できない臨場感のあるものとする。

- ・ア～ウと別の空間とすることも可とする。
- オ その他の機能
 - ・アクセス数を町職員が把握可能な形とする。
 - ・アクセス数はユニークユーザー数、ページビュー数を分けて把握できることが望ましい。
 - ・入室者へのアンケート調査が可能な形が望ましい。

(参考) メタバース空間構築に関する町の考え方

①課題への対応

ア 霞ヶ浦の水質に対する意識啓発

「2030 泳げる霞ヶ浦」をメタバース上で実現することによって、かつての美しい霞ヶ浦を 2030 年までに取り戻すという指針を打ち出し、霞ヶ浦流域の全ての関係者の具体的な行動につなげていく。

イ PR 不足への対応

従来の広報活動ではリーチが難しかった層、例えば、若い世代や、町外に住む人に対してアプローチする。特に、ゲームなどのエンターテイメント要素を取り入れることで興味関心を引き付け、PR 効果を高める。

ウ 誰一人取り残されない環境の整備

メタバース空間では、現実世界の物理的な制約を受けずに移動が可能であり、匿名で周囲の目を気にせずイベントを楽しむことができるため、対人コミュニケーションに不安を感じる人にとっても参加しやすい環境といえる。

①町民のメリット

ア 新しい交流の促進

メタバース上では、現実世界での人間関係や世代・立場にとらわれずに、共通の関心を持つ人々が集まり、交流を広げることが可能。

イ 参加の機会均等

障害を持つ人、育児や介護で外出が難しい人、健康上の理由でイベントへの参加が難しい人にも参加機会を提供。現実世界での制約に影響されず誰一人取り残されない参加機会の創出を実現。

ウ 町の魅力発信

先端技術であるメタバースによって、未来の霞ヶ浦の姿を打ち出すことにより、阿見町のイメージアップにつながり、町民の誇りと愛着につなげる。

参考事例

ア 大阪府豊中市「メタバースとよなか」

作って終わりではなく、3D アート作品の公募や作品制作講座などのソフト事業によって継続的な活用を行い、市の文化芸術の活性化につながっている。

イ 神奈川県横須賀市「横須賀メタバースプロジェクト」

観光地を忠実に再現するのではなく、未来の横須賀をコンセプトにした独特な雰囲気づくりや、3D データの配布などの仕掛けにより、多くのユーザーの集客につなげている。